

京都議定書6%削減目標の達成に向けて

ライフスタイルを見直し、
1人1日で1kgを目指して
CO₂ダイエット

積み重ねて

1kg × 1億2,800万人
× 365日
= 約4,700万t/年

家庭部門の
削減目標
約3,800万t/年

二酸化炭素の部門別排出量の推移

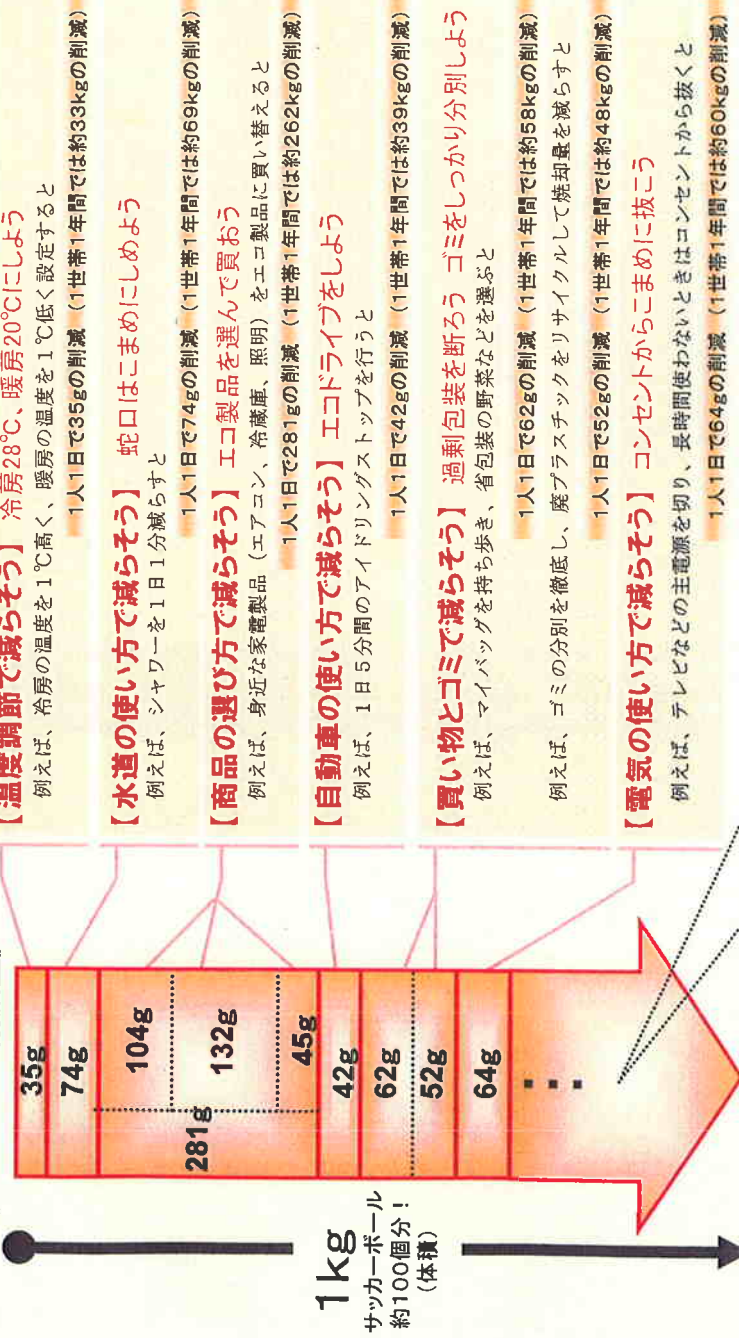


家庭や職場、地域での具体的な温暖化防止のアイデアを
公募し、効果が検証されれば、積極的に国民へ紹介。

CO₂削減のために一人ひとりができること

我が国のCO₂排出量は、家庭部門で37.4%の増(1990年比)[2005年度排出量:1億7,500万トン]となっており、2010年までの削減目標量は、3,800万トン。これを実現するためには、一人ひとりが日常のライフスタイルを見直し、家庭や職場でできる温室効果ガス削減の取組を広げていく必要があります。例えば、下記の取り組みを全て実践すると、年間で1世帯当たり約569kg(1人1日では610g)の削減が可能です。政府は国民運動の展開に全力をあげていきます。「チーム・マイナス6%」に国民の皆様の手を貸して下さい。

《1人1日での削減量》



公衆したアイデアなどにより更に削減を目指します

【オフィスで】(1) エアコンの設定温度をクールビズ開始(2005年度)前より上げている割合 → 43.2%

(2) CO₂削減量の推計

→ 日本全体で約114万トンのCO₂削減(6~9月)

【エアコン】



1人1日で104gの削減 (1世帯1年間では約97kgの削減)

【冷蔵庫】



1人1日で132gの削減 (1世帯1年間では約123kgの削減)

【照明】

最も買い替えやすいものとして、照明のうち、「白熱電球」を「電球形蛍光灯ランプ」に交換

1人1日で45gの削減 (1世帯1年間では約42kgの削減)



【日本国民全員が週に1枚レジ袋を断った場合】

→ 日本全体で約36万トンのCO₂削減

気候変動が主要な議題となる今後の外交日程

平成19年5月

外務省

2007年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2008年 1月 春 --- 6月 7月 --- 11月 12月



G8サミット
(6/6-8)
(ハイリゲンダム)

北海道
洞爺湖サミット
(7/7-9、日本)

気候変動、グリーン・エネルギー、持続可能な開発に関する閣僚級対話(ベルリン)

気候変動、グリーン・エネルギー、持続可能な開発に関する閣僚級対話(千葉)

TICAD IV
(春頃)
(横浜)

G8環境大臣
会合(神戸)

気候変動に関する
国連ハイレベル会合等
(9月予定)

APEC首脳会議
(9/8,9)
(シドニー)

東アジア・サミット
(11/21)
(シンガポール)

ASEM首脳会合
(10/24-25)(北京)

京都議定書
第1約束期間
2008~2012年

